

7. 13水害20年プロジェクト実行委員会 事業計画

令和6年3月4日

No	事業名	実施予定時期	実施予定場所	概要
1	巡回パネル展	5月～12月	各機関の公共施設や民間商業施設	幅広いターゲットを対象に7.13水害当時の被害や対応の状況に関する展示物、あるいは、各機関が出す防災情報を解説する展示物を設置したブースを開設し、水害の経験を広く伝えるとともに、防災意識の向上を図る。
2	インフラバスツアー	7月～10月	見附市内、三条市内	7.13水害の関連資料が展示されている施設や、被災箇所、治水対策を実施した箇所、ダム等の河川管理施設などをバスで回り、現場を見ながら学習することで防災や治水事業に関する理解を深めて防災意識の向上を図る。(五十嵐川周辺、刈谷田川周辺それぞれでコースを設定し、各半日程度で実施)
3	防災キャンプ	7月	見附市内の小中学校等	見附市内の小中学校で実施予定の「見附市防災スクール推進事業」等において、児童・生徒・市民が防災・減災について学べる体験型の学習活動を実施し、防災意識の向上を図る。
4	マイ・タイムライン教室	6月～8月	信濃川下流域の小中学校や町内会	水害を経験していない世代に対して、実際に洪水が起きた時にどう行動するのかということマイタイムラインの作成を通じて学んでもらい、防災意識の向上を図る。
5	シンポジウム	8月	見附市中央公民館	講演、学習活動発表、リレートーク／パネルディスカッションをメインに災害記憶の伝承や防災意識の向上を図るプログラムを実施する。 講演では、気象予報士等に近年の気象状況や防災に関する情報などを分かりやすく解説してもらう。 学習活動発表では、小学生等が防災学習に取り組んでいる様子を参加者に紹介する。 リレートーク／パネルディスカッションでは、見附市長、7.13水害を経験した方、現在防災に関する活動を行っている方、気象予報士や防災士の方などにより、「住民避難」や「地域防災」をテーマに討論をしてもらう。 また、シンポジウムと同時開催として、パネル展に加え、降雨体験や防災グッズの実演販売などのブースを設置する。
6	スタンプラリー	6月～10月	三条市内、見附市内	7.13水害や治水、防災に関連する施設を巡るスタンプラリーを実施し、全てのチェックポイントのスタンプを集めた参加者には景品を贈呈する。各施設にはQRコードを掲示し、読み込むと電子スタンプが付与されると同時に当該施設を解説するページを表示することで、参加者に楽しみながら水害や治水、防災に関して学んでもらい、防災意識の向上を図る。

※計画は変更となる場合があります